

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ノアと大こうずい



<sup>ぶん</sup>  
文: Edward Hughes

<sup>え</sup>  
絵: Byron Unger; Lazarus

<sup>かいさくしゃ</sup>  
改作者: Bob Davies; Tammy S.

<sup>ほんやくしゃ</sup>  
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

<sup>しゅっぱんしゃ</sup>  
出版社: Bible for Children  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2009 Bible for Children, Inc.

<sup>きよか</sup> <sup>たにん</sup> <sup>う</sup> <sup>かぎ</sup> <sup>はなし</sup>  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、  
<sup>また</sup> <sup>きよか</sup>  
又はプリントは、許可されています。



かみ                      だいす  
ノアは、神さまが大好きで、  
さんび  
いつも賛美している人でした。  
でもね、ほかのみんなは、  
さんび  
賛美などすっか

りいや  
になり、

かみ  
神さまにしたが  
いません  
でした。



ある日、神さまは、みんなが  
ひどくショックをうけるよ  
うなことを、言われました。

せかい

わる

「この世界はこんなにも悪くな  
ってしまった。ひとつのこら  
ずほろぼしてしま

おう！」

そして、ノアにこ

い

う言われ

ました。「ノア、  
あなたのかぞくだけは、

たす

助けてあげよう。」



かみ

神さまは、ノアにやがて大こうずいがやっ  
てくること、そしてその大こうずいは、

ち

すっぽりとこの地すべてをおおって  
しまうことを、知らせました。

「ノア、大きなはこ舟を、  
つくりなさい。」



あなたのかぞくと <sup>どうぶつ</sup> たくさんの動物たち  
<sup>はい</sup> <sup>ぶね</sup>  
みんなが入れるようなはこ舟をね。」



かみ

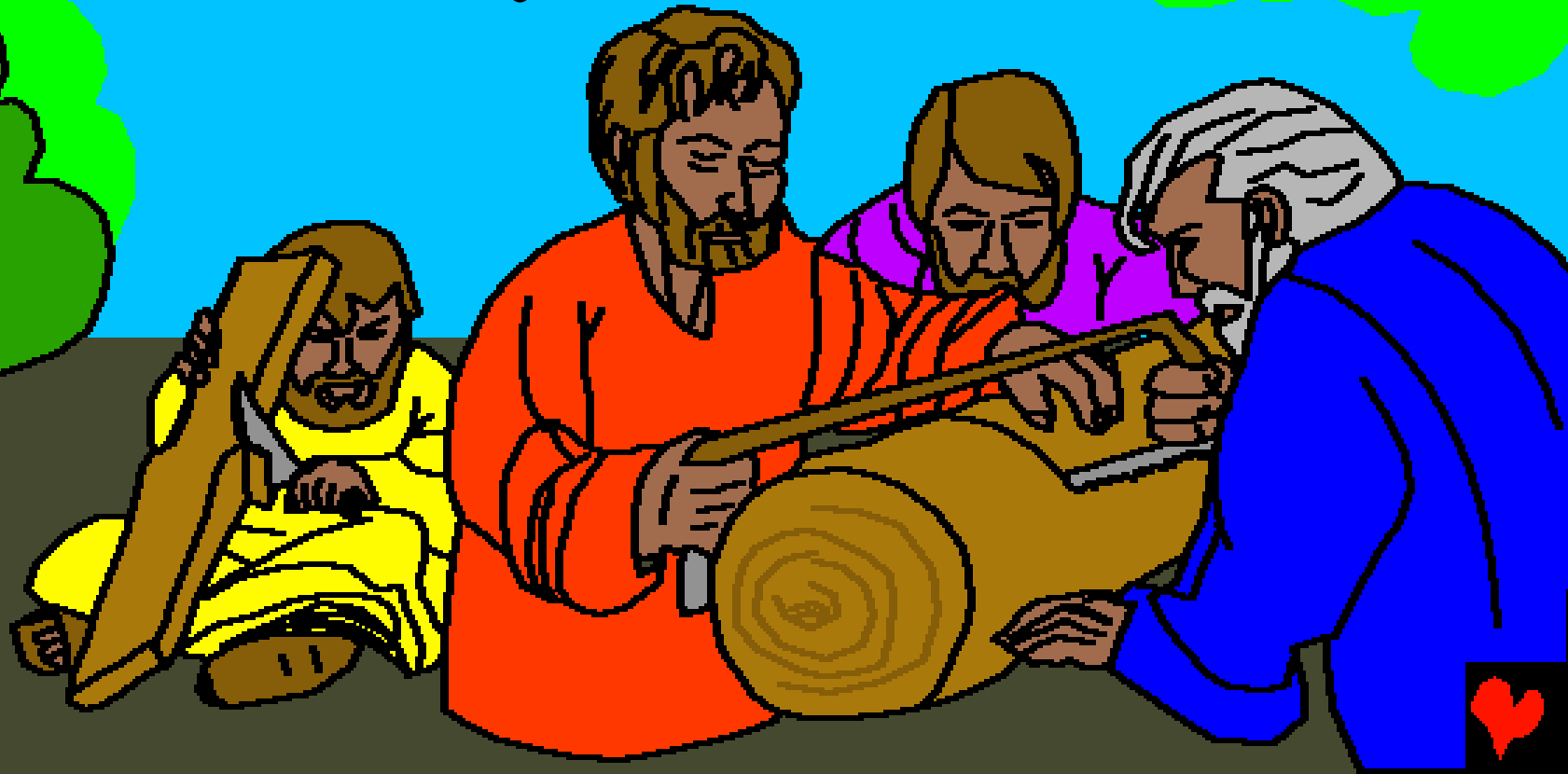
めい

神さまは、ノアにこう命じられ、どのよう

ぶね

にはこ舟をつくるか、ひとつひとつて  
いねいにおしえてくださいました。

さあ、ノアは、いそがしくな  
りましたよ。





ノアは、まわりの  
ひと

人たちに、どうし  
てこんなに

おお

大きなは

ぶね

こ舟をつく

っているのか、

おしえてあげました。

でも、たぶんみんなは、

わら

ノアをばかにして笑っ

たでしょうね。







ノアは、もくもくと、  
<sup>ぶね</sup>  
はこ舟をつくりつづ  
けました。そして  
みんなに、

<sup>かみ</sup>  
神さまの  
<sup>い</sup>  
ことを、言いつづけ  
ました。でもね、だれ  
<sup>き</sup>  
も聞こうとはしません  
でした。



ノアは、<sup>こころ</sup>心のそこから<sup>かみ</sup>神さまを<sup>しん</sup>信じていました。たと

<sup>いま</sup>え今まで、

<sup>いっ</sup>ここに<sup>あめ</sup>一てきの雨もふったことが  
なかったとしても、やっぱりノ

<sup>かみ</sup>アは<sup>い</sup>神さまの言われたことを

<sup>しん</sup>信じたでし  
ょう。



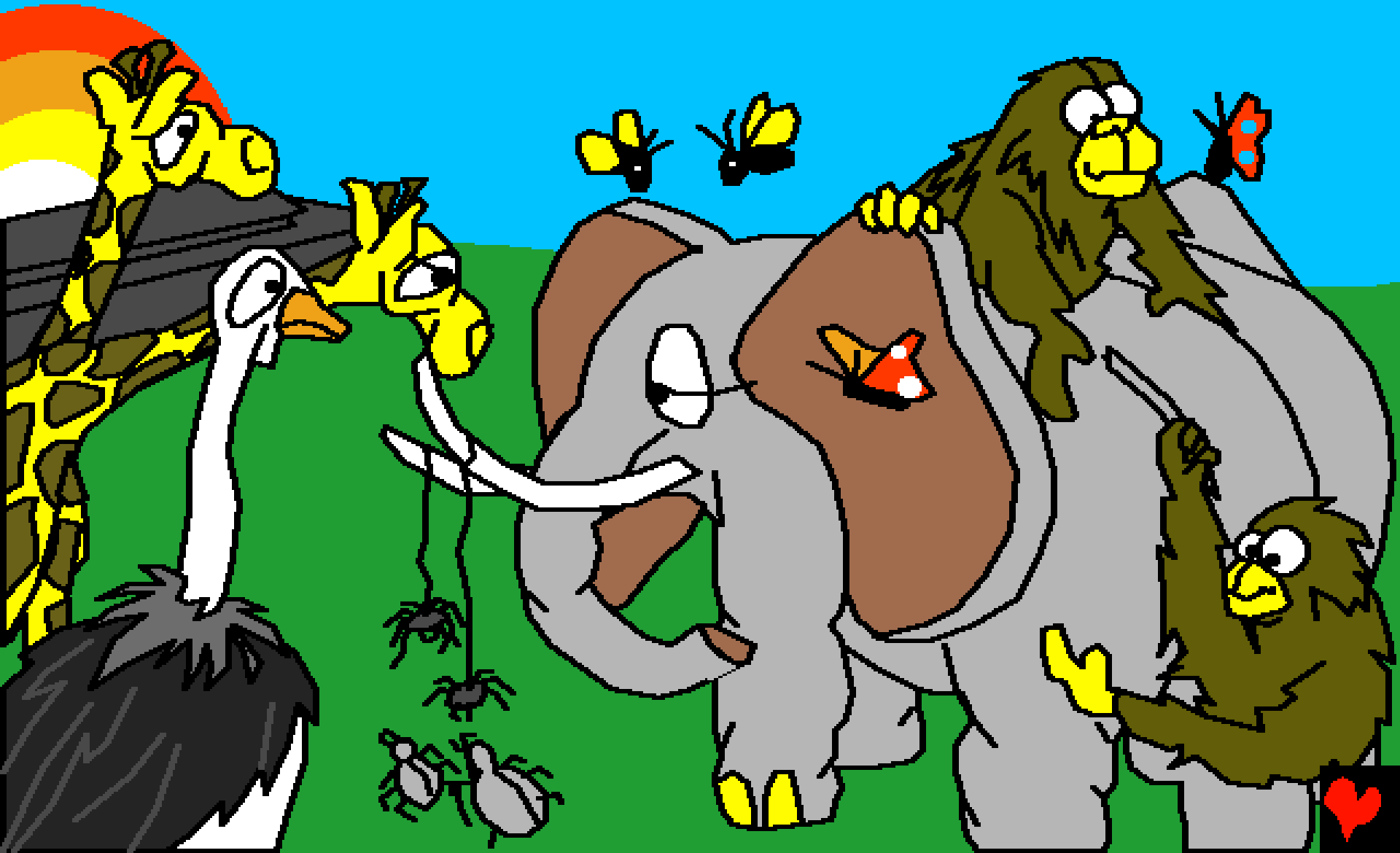
ぶね

まもなくはこ舟は、いろい  
ろなものを積みこむための  
じゅんぴが、すっかりとで  
きあがりました。



どうぶつ

さあ、動物たちがやってきました。



かみ

どうぶつ

神さまは、いくつかのしゅるいの動物から、おすとめす

なな

ふた

と七くみ、またそのほかのしゅるいからも二くみ、  
つれてこられました。



とり

ことり

どうぶつ

大きな鳥やかわいい小鳥さんも、ちっちゃい動物さん

どうぶつ

ぶね

からのっぽの動物まで、みんなそろってはこ舟へ  
やってきましたよ。



どうぶつ

ぶね

人々は、ノアが動物たちをはこ舟にのせてい  
るのを見て、あざけり笑ったのでしょ  
うね。

み

わら

みんなは、神さまにしたがわな  
いで、  
罪をおかしてばかりい  
ました。

かみ

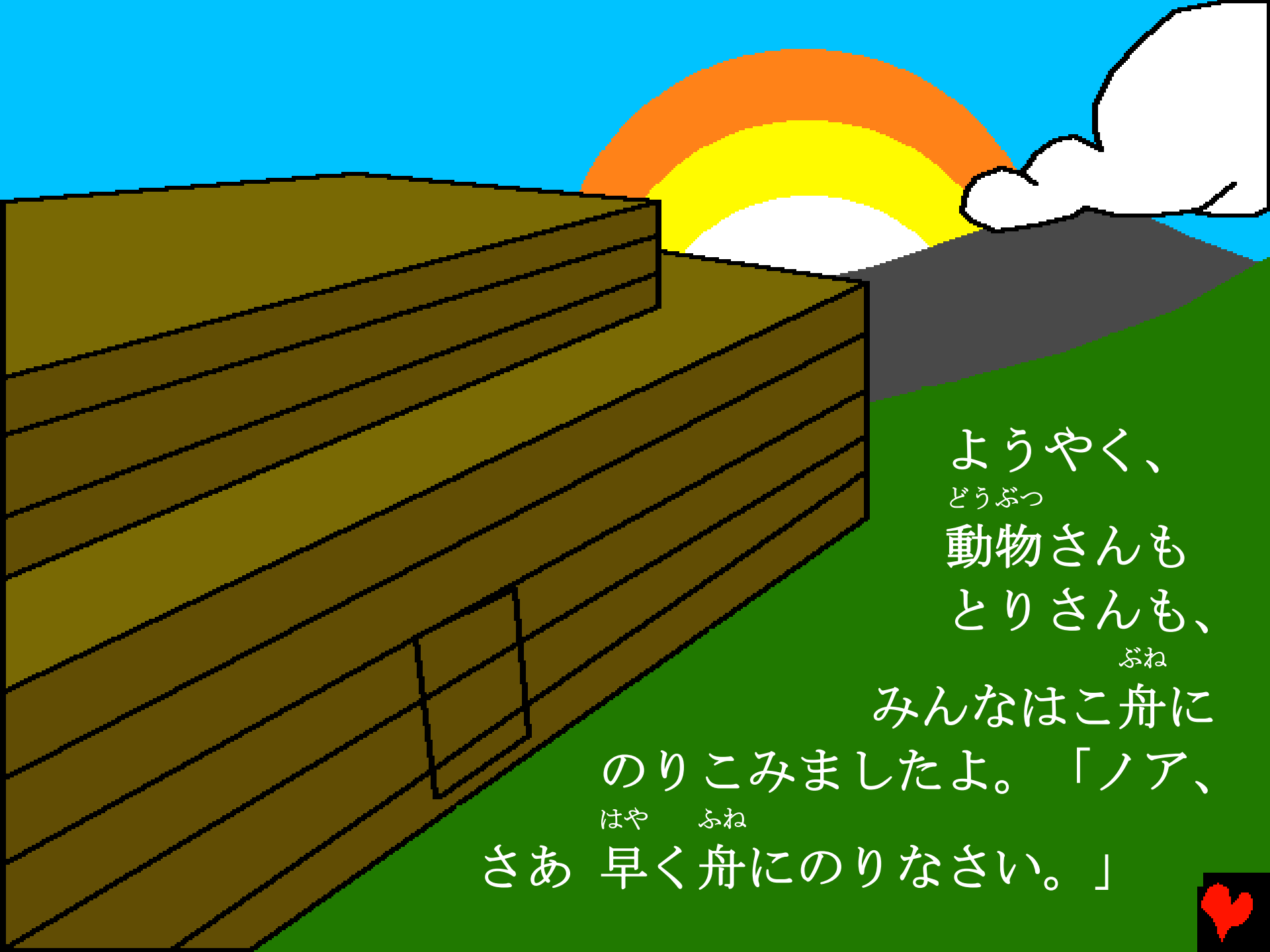
つみ



それにみんなは、ノアにはこ  
ぶね い  
舟に入れてくださいって、  
たのみませんでした。







ようやく、  
どうぶつ  
動物さんも  
とりさんも、  
ぶね

みんなはこ舟に

のりこみましたよ。「ノア、  
はや ぶね

さあ 早く舟にのりなさい。」



かみ

神さまは、ノアをよびました。「あなたの  
かぞくもいっしょにね。」

ノアのつま、  
さんにな

そして三人のむ  
すこたちとその  
つまたちが、

ぶね

はこ舟にのりこみま

かみ

した。それから、神さまは、

ぶね

と

し

はこ舟の戸をぴしゃりと閉  
められたのでした。



あめ

いよいよ、雨がふり  
はじめましたよ。ど

あめ

よんじゅうにち

しゃぶりの雨です。四十日

ひる

のあいだ、まいにちまいにち、昼

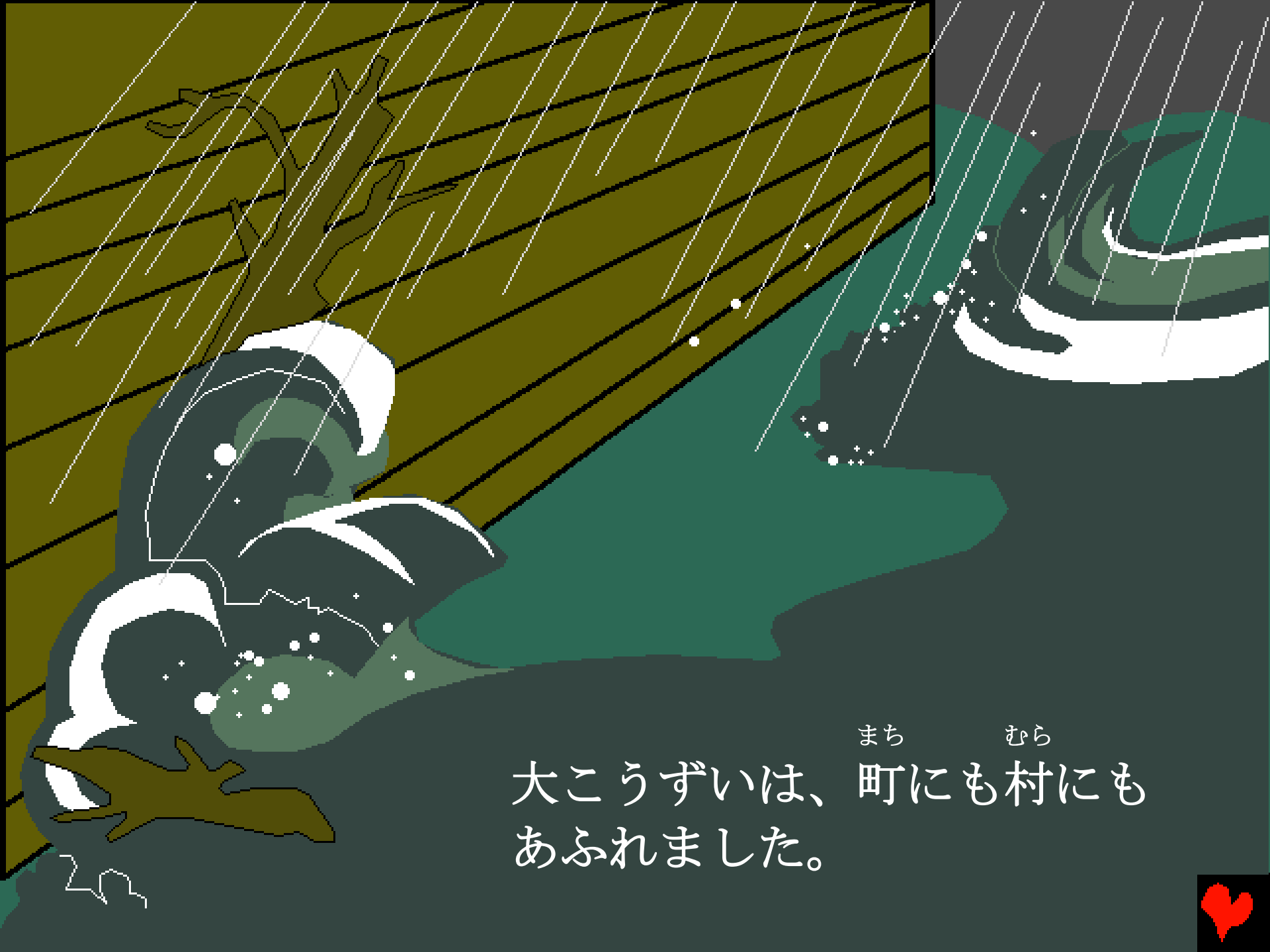
よる

も夜もふりつづけたのです。

みず

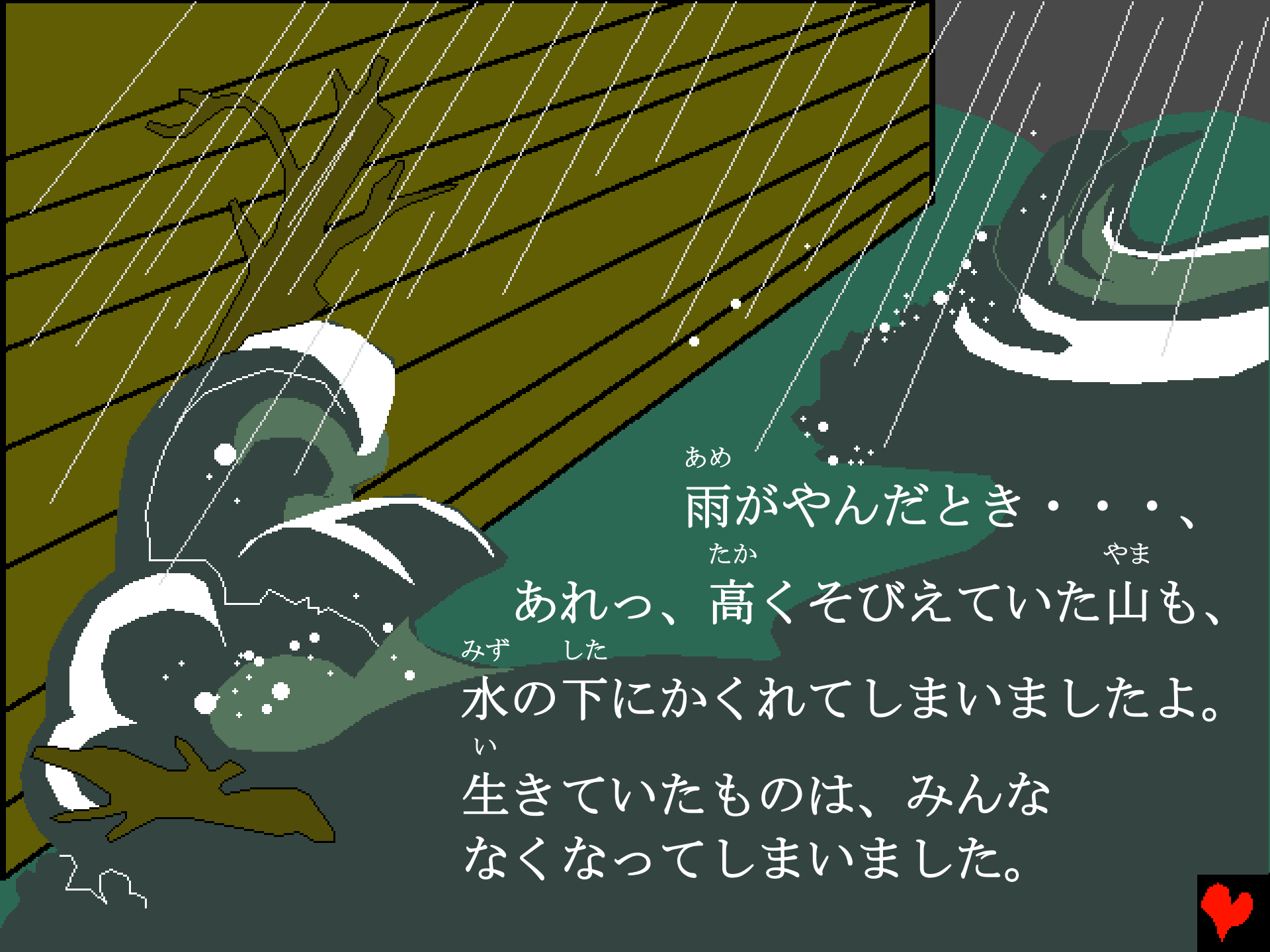
なにもかも水びたし・・・。





まち むら  
大こうずいは、町にも村にも  
あふれました。





あめ

雨がやんだとき・・・

たか

やま

あれっ、高くそびえていた山も、

みず した

水の下にかくれてしまいましたよ。

い

生きていたものは、みんな

なくなってしまいました。





みず

水がどンドンあふれてくると、

ぶね みず うえ

はこ舟は、水の上にぽっかりと

ぶね なか

うかびました。はこ舟の中は、

くらかったでしょうね。

がたがたゆれたでしょうね。

そしてみんなこわかったかもし

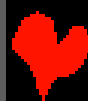
ぶね

れませんね。でも、はこ舟は、

だい

ノアを大こうずいからまもつ

てくれたんですよ。



ご げつ ずい  
五か月ものあいだ、こう水はつづきま  
かみ  
した。そのあと、神さまは、かわいた  
かぜ  
風をおくられました。





ぶね たか  
はこ舟は、のこされた高い山、  
アララト山さんのほうへながされて  
いきましたよ。







そう、ゆっくり、ゆっくりと・・・。

よんじゅうにち

ノアは、それからまだ四十日のあいだ、

ふね

舟のなかにいました。そのあいだに

みず

水がすこしずつ

つひいてい

きました。



ふね

ノアは、舟のまどをあけ、カラスとハトをはなしてやり  
ました。でもね、



とまることができるよう  
なかわいたきれいなとこ  
み

ろが見つからなかったので、  
ハトは、ノアのところにもどっ

いっしゅうかん

てきました。」一週間して、  
ノアはもういちどハトをはなして  
やりました。すると、どうでしょう。





ハトは、あたらしいオ  
くち

リーブのはっぱを口にく  
わえてもどってきましたよ。

つぎ しゅう ち

そして次の週、ノアはこの地  
がかわいていることが、わか  
ったのでした。なぜってね、  
こんどは、ハトがもどってこ  
なかつたんですもの。



かみ

い

神さまは、ノアに言われました。「さあ、そろそろは  
ぶね

こ舟からでてごらん。」ノアもノアの  
かぞくもいっしょになっ  
て、どうぶつたちをはこ  
ぶね  
舟からおろ  
してあげ  
ました。



ノアは、なんてうれしかったことでしょう。ノアは

さい

かみ

祭だんをつくり、「神さま、

ありがとうございます

ます。」って、

れいはい

礼拝しました。

かみ

神さまが、ノアもかぞくも、おそろしいあらしから、すくってくださったのですから。



かみ

神さまは、  
ノアにすばらし  
いやくそくをして  
くださいました。  
それはね、

かみ

神さまはもう  
に ど ずい  
二度とこう水な  
どおないって。

ひと つみ

人の罪をさば  
くためにね。



かみ

神さまは、

おも

そのやくそくを思

だ

い出せるようになって、

すてきなものをくださ  
いました。それは、にじ。

うつくしいにじが、

かみ

神さまのやくそくの  
しるしなのです。



だい

大こうずいのあと、  
ノアやノアのかぞくたちは、  
すべてのことを、はじめから  
あたらしくやりはじめま  
した。





そのうちに、

ち

この地ぜんぶノアたちのしそんで

せかいじゅう

いっぱいになりました。世界中

くに

のいろいろな国の人々は

みんな、ノアとそ

こども

の子供から

う

生まれてきたのですよ。



# ノアと大こうずい

かみ

み

せいしょ

しる

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき

しょう

しょう

創世記 6 章 - 10 章

み

ひら

ひかり

あた

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん

詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに  
かみ かみ  
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを  
おも  
しってほしいと、思っています。

かみ わたし  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい  
かみ つみ つみ  
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の  
し かみ あい  
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい  
ひとり こ よ おく  
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って  
つみ じゅうじかじょう な  
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ  
てんごく  
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい  
しん  
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる  
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください  
いま ところ き なか  
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に  
す い  
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生  
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ  
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな  
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ  
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるして  
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし  
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい  
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし  
て生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

